

さちひろ

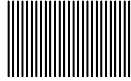
天理教狭千廣分教会の広報紙
1面・人知には及びもしない神様の計画
2面・私にできる人だすけ
3面・おやさま逸話篇から
4面・教会の動き

発行：天理教狭千廣分教会 〒589-0021 大阪狭山市今熊1-1133 Tel.072-365-2571
E-mail:wat@sachihiro.com url:http://sachihiro.com 編集兼発行人・山口 渡



木は自分で
動きまわることができない
神様に与えられたその場所で
精一杯枝を張り
許された高さまで
一生懸命伸びようとしている
そんな木を
私は友達のように思っている
(『風の旅』立風書房刊)

つばき



人知には及びもしない神様の計画

教会の動き

- 朝づとめ：毎朝・6時30分
 - 夕づとめ：毎夕・7時30分
 - 元旦祭：午前7時・午後1時30分
 - 春季大祭：1月21日午後1時30分
 - 秋季大祭：10月21日午後1時30分
 - 月次祭：毎月21日 午後1時30分
 - 春・秋季霊祭：3月22日、9月22日 午後1時30分
- ※教会の場所は、左の地図の★マークです。市立公民館の裏・西側です。



- よふぼくネットワーク
- 《せきしんの集い》

毎月、5日の午後1時から2時30分まで、狭千廣分教会で、よふぼくネットワーク「せきしんの集い」を開催しています。

天理教大阪教区阪南支部の活動ですので、教会系統に関係なく、よふぼくの方、どなたでも自由にご参加いただけます。

4月5日は、教祖百二十年祭に向けての、全国各地で展開されているよふぼくネットワークの活動を、ビデオの映像を通して、いっしょに学びます。

地域の方々とのこうした交流を通して、お互いの信仰を深め、教理の勉強、ひのきしん・布教活動を実践して、勇んだ毎日を過ごせるよう、心の切磋琢磨に励みましょう。「せきしん」は「赤心」＝誠の心意。

「陽気な暮らし」って、要するに「幸せな暮らし」って、おきましょか。神様は、陽気な暮らしを望まれます。人間にさせたいと思っ
て人間を創られたのです。人間の生きる目的を教えてください。ですから人間には生かされたらにして幸せになる責任があると思
うんです。
ところが実際には、幸せになかなかない
いので、いろいろ言い訳をしているんじやな
いですか。自分もつと金持の家に生まれ
たら幸せになれたのに、もつとこし頭が
よかつたら、罂粟よく生まれていたら、こん
な苦労をせよともフツキな人生をおくれた
のに、不幸であるための理由をあげればき
りがないですね。
不幸の檻に自分を閉じているのは、果た
して自分自身なんですね。ここに気づく必要が
あります。
星野富弘さんを存じますか。中学校の体育
の先生でした。クラブ活動で生徒にバク転を演
技して見せたのですが、運悪く着地に失敗して

編集後記

隣接する山が宅地に造成されようとして
います。予定ではもう工事が始まって
いるところなのですが、いろいろ経緯が
あって、遅れておりました。しかしよう
やく動き出したようです。わが家の前に
5メートル以上の擁壁が、近々現しま
す。緑がなくなつて夏の暑さとともに冬
に暖かい日差しも遮られて寒さも厳しく
なるものと心配が募っている昨今です。
▼広報紙「さちひろ」第2号ができた
た。巻頭の一文は、狭山分教会・青年会
機関誌「飛躍」のQ&Aコーナーのため
に執筆した原稿です。こちらにも掲載さ
せてもらいました。
▼3月は年度末の月です。進学・就職と
新しい生活への切り替わりの旬ですね。
心もフレッシュして、新年度を迎えた
いものです。

さちひろ 第2号

編集兼発行人・山口 渡
平成17年2月21日
大阪狭山市今熊1丁目1-133番地
Tel.072136512571



首の骨を折つて、頸椎損傷！以後、手足とも
にまったく動かなくなつてしまいました。しか
し星野さんは、その不幸運命を恨むこと
はできません。病気を呪うこともなく、口と筆
をくわえて、絵を描き、詩を書かれています。
最初に掲げた詩はそのひとつです。彼の絵や詩
には、人の心を打つ力があります。多くのもの
を失った者しか気がかない人間の生きる意味へ
の深い洞察があるからです。
バク転の事故はまさに不幸なことでしたが、
その不幸を補つて余りある精神の高みにたどり
着いた彼の思いがこの詩に表現されている
と思います。
「身上、事情は道の花」と言われます。辛いこ
と、苦しいことには、人知には及びもしない神
様の計画が隠されているんです。幸せになるこ
は、成つてくるとを神様の計らいとすべて受
け入れて、前向きに進むことです。その道を歩
むところに素晴らしい前途が開けてきます。陽気
な暮らしが見えてきます。